

令和2年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	07	01	02	174100	企業誘致推進事業費	
総合計画	分野	01	しごと	政策	05 農工商観連携の推進	
	施策	03	企業誘致の推進			
目的	企業誘致の推進					
対象	誘致折衝企業、誘致企業					
意図	市内への新規企業立地に結びつけるとともに円滑な企業活動を支援する					
事業概要	企業誘致活動費 3,021千円 企業情報の収集、訪問活動及び市企業誘致促進協議会等への参画による誘致活動の展開 工業団地緑地保全業務 3,663千円 工業団地の除草、緑地保全等の実施 花巻市企業立地促進奨励事業補助金 10,609千円 企業が市内の特定地域に工場等を新設または増設する場合に要する経費に対する補助金の交付					
市民参画の有無	対象外					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H31	R02	R03
1	訪問企業数	社	計画	160.00	160.00	
			実績	106.00	81.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H31	R02	R03
1	操業継続している誘致企業	社	目標	92.00	92.00	
			実績	88.00	88.00	
2	支援制度を活用して新規立地、増設した企業	社	目標	3.00	3.00	
			実績	4.00	1.00	
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
新規立地の獲得や既立地企業の設備投資につながるよう、企業訪問等を通じたニーズの把握に努めているが、コロナ禍による経済情勢の変化や先行きの不透明感などから新規立地が叶わなかったもの。一方、既立地企業の設備投資は1件の実績に留まったが、総じて設備投資が活発化しており、コロナ禍にあっても既立地企業の業容は底堅いと思料されるもの。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	新規企業の誘致や既立地企業の円滑な事業運営は、市民の雇用や市内経済への波及効果の拡大に直結するものであり公共関与が妥当である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	成果の向上は時々々の経済や社会情勢に多分に左右されるものの、対象企業の絞り込みや企業ニーズの把握により向上余地は残されている。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	誘致折衝企業数、立地企業数の増減に伴うものであり削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	新規企業の立地や既立地企業の業容拡大に伴う経済効果は、市の負担と比較し多大であり、公平性は保たれている。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	新規立地の獲得や既立地企業の設備投資につなげるため、企業訪問等を通じたニーズの把握に努め、既立地企業の設備投資1件の成果があった。
	次年度に向けて	既立地企業の設備投資が活発化していることから、補助金交付などの支援を通じ、市民の雇用や市内経済への波及効果の拡大に結びつけたいもの。また、新産業団地の整備計画とリンクした新規立地の需要調査を行い、新規立地の獲得に向けた活動を展開したいもの。

令和2年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	07	01	02	174210	産業団地整備事業費	
総合計画	分野	01	しごと	政策	05 農工商観連携の推進	
	施策	03	企業誘致の推進			
目的	新たな産業団地の整備による企業誘致の推進					
対象	本市への誘致企業					
意図	誘致企業に対する産業団地の整備					
事業概要	【産業団地整備事業】 産業用地整備 424,534千円（うち繰越明許費175,745千円） 二枚橋地区産業用地インフラ整備工事 花南地区産業団地基本計画策定等業務 50,755千円 花南地区産業団地整備に係る基本計画策定及び測量・地質査業務					
市民参加の有無	対象外					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H31	R02	R03
1	訪問企業数	社	計画	160.00	160.00	
			実績	106.00	81.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H31	R02	R03
1	操業継続している誘致企業	社	目標	92.00	92.00	
			実績	88.00	88.00	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
新規立地の獲得や既立地企業の設備投資につながるよう、企業訪問等を通じたニーズの把握に努めているが、コロナ禍による経済情勢の変化や先行きの不透明感などから新規立地が叶わなかったもの。一方、既立地企業の設備投資は1件の実績に留まったが、総じて設備投資が活発化しており、コロナ禍にあっても既立地企業の業容は底堅いと思料されるもの。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	本市への企業誘致の受け皿となる産業用地の整備及び計画を行うものであり、公共関与が妥当である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	先進事例や立地動向の調査・分析を通じ、企業側へより魅力的な産業団地（立地条件）となるよう工夫の余地がある。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	一般的なハード事業にかかるスキームに沿った内容であり、削減の余地がない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	産業団地の整備に要した事業費を原則として企業への譲渡価格に転嫁することとしているため、適正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	市内への新規立地の受け皿となるよう、市独自で二枚橋産業用地を整備し、物流拠点を整備する企業へ売却し、その後、マルチテナント型物流施設が整備された。また、東北自動車道「花巻パーキングエリア」へ整備されるスマートインターチェンジと連動した実相寺・山の神エリアの産業団地の整備に向けて、基本計画の策定や現況測量、埋蔵文化財の試掘、配水系等調査を行った。
	次年度に向けて	実相寺・山の神エリアの産業団地整備の可否を検討するため、基本設計を実施するほか、現況測量、埋蔵文化財の試掘を引き続き実施する。

令和2年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	07	01	02	174240	新事業創出基盤施設改修事業	
総合計画	分野	01	しごと	政策	05 農工商観連携の推進	
	施策	03	企業誘致の推進			
目的	起業化支援センター工場棟照明設備更新					
対象	工場棟照明設備					
意図	施設機能を維持し、起業・新事業展開を支援する					
事業概要	起業化支援センター工場棟照明設備更新 1,927千円 経年劣化がみられる起業化支援センター工場棟A棟及びC棟の照明設備の更新					
市民参画の有無	対象外					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H31	R02	R03
1	起業化支援センター工場棟入居状況（各年度末）	%	計画		100.00	
			実績		76.90	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H31	R02	R03
1			目標			
			実績			
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
施設改修に係る事業であることから、成果指標を設定しなかった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	起業・新事業展開の支援を行うために必要な施設であり、施設機能の維持は妥当である
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	起業・新事業展開のさらなる増加を目指すことが必要。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	施設機能維持のために必要な金額となっているため、削減余地はない
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	使用にあたっては、運営委員会による審査を経ており、また使用料も明確に定めているため公平性は図られている。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	灯具に不具合が見られていた照明設備をLEDに更新を行い、入居企業の新規創業と新事業への展開を支援する体制を整えた。
	次年度に向けて	工場棟のLED化を継続して実施する必要があるため、適正な費用を見極めつつ工事を実施する。